

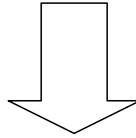
行政事業レビューシート（文部科学省）						
予算事業名	高等教育における国際的な学習成果の評価に関する調査研究等		事業開始年度	平成21年度		作成責任者
担当部局庁	高等教育局		担当課室	高等教育企画課		高等教育企画課長 義本博司
会計区分	一般会計		上位政策	「豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進」 「国際協力の推進」		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計 画、通知等	—		
事業の目的 (目指す姿を簡潔 に。3行程度以内)	OECD(経済協力開発機構)が主体となって実施する「高等教育における国際的な学習成果の評価(AHELO)」に関する実現可能性を探ることを目的とした調査(フィージビリティ・スタディ)に参加し、実施内容について適切に調整を図ることにより、我が国においても適切な国際通用性を有する学習成果の評価手法を開発し、我が国の高等教育機関における教育内容・手法に関する評価・改善に資する。					
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	OECD高等教育における学習成果の評価(AHELO)フィージビリティ・スタディに参加し、OECDの政府間会合に出席。					
実施状況	OECDの政府間会合に出席。(21年度は3回開催)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	—	32	7	6
	執行額	—	—	28		
	執行率	—	—	87.5%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	28		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	フィージビリティスタディ参加に要する既定の拠出金をOECDに支出した他、OECDの政府間会合に出席するための旅費等として支出している。 経費の執行に際しては、執行一覧を作成し、支出先・用途を適切に把握している。				
	見直しの 余地	各年度の執行実績等を踏まえ、所要額の算定を適切に見直す。				
予算 監視 の 所 見 の 効 率 化 手 続	本事業は、平成22年度においては、OECD政府間会合に出席するために必要な経費であり、納税者の視点に立って、引き続き効率化及び予算と執行の乖離は正に努め、予算を縮減すべきである。					
補 記						

文部科学省  
28百万円

旅費等 4百万円  
外国人招聘費等 1百万円  
庁費 2百万円

を含む。

OECDが主体となって実施する「高等教育における国際的な学習成果の評価(AHELO)」に関する実現可能性を探ることを目的とした調査に参加するとともに、調査に要する費用を拠出。



【拠出】

A. OECD(経済協力開発機構)  
総額 21百万円

高等教育における国際的な学習成果の評価(AHELO)に関する実現可能性を探ることを目的とした調査(フイージビリティ・スタディ)を実施。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.OECD(経済協力開発機構)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	ユネスコ事業等拠出金	21			
計		21	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。  
 使途と費目の  
 双方で実情が  
 分かるように記  
 載)